

議事要旨

第1回千葉県安全性向上プロジェクト委員会

開催日時： 平成17年11月21日（月）12:30～13:30

開催場所： ぱ・る・るプラザ千葉 6階「樺1」

委員会出席者： 千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科 教授 赤羽 弘和《委員長》
 千葉県警察本部 交通部 交通企画課長 佐藤 譲二
 千葉県警察本部 交通部 交通規制課長 小林 安久
 千葉県 環境生活部 交通安全対策課 副主幹 浦辺 清隆（代理）
 千葉県 県土整備部 道路環境課 課長 成毛 一雄
 館山市 市民福祉部 部長 大山 了一
 千葉市 建設局 土木部 部長 田中 富雄
 君津市 建設部 部長 村山 義之
 松戸市 市民担当部 生活安全課 課長 堀切 泰雄（代理）
 富津市 建設部 土木課 課長 島田 秋雄（代理）
 財団法人 千葉県交通安全協会連合会 総務課長 宮崎 正（代理）
 社団法人 千葉県安全運転管理協会 講習課長 工藤 洋二
 社団法人 千葉県トラック協会 事務局長 吉川 秀明
 社団法人 千葉県バス協会 常務理事 加藤 廣
 千葉日報社 取締役業務局長 川名 親
 首都国道事務所 事務所長 吉木 務
 千葉国道事務所 事務所長 有田 幸司（敬称略）

- | | |
|------|---|
| 委員 A | ・ この対策箇所と県警が公開している事故多発交差点ワースト50との整合は取れているのか。一般の方の混乱を招くのではないか。 |
| 事務局 | ・ H12～H15年の死傷事故件数や死傷事故率などの指標から対策箇所を選定している。 |
| 委員 B | ・ 対策箇所の選定・順位付けについては説明の仕方に工夫が必要である。地元の受け入れ態勢なども対策の実施にあたっては、大事な指標の一つであると思われる。 |
| 委員 C | ・ 交通安全施策の「事故危険箇所」との関係はどうなるのか。今回の対策箇所は何を基準として抽出しているのか。 |
| 委員 D | ・ フォローアップの実施は、どのぐらいの期間で考えているのか。時間軸を選定基準に入れるべき。 |
| 委員 B | ・ 5年は長いため、1～2年の短い期間でなくてはならない。 |
| 事務局 | ・ 現地診断等で区画線等の短期的な対策については適宜行う考えである。また、用地買収を伴う抜本的な改良が必要な箇所は、中長期的な対策が必要と考えています。 |
| 委員 C | ・ 千葉県・千葉市の管理道路を対象としたエリアという指標は必要なのか。また、国管理にはエリアによる抽出が無く同じ比重でなくても良いのか。 |
| 委員 A | ・ 対策箇所を各指標で10箇所ずつ選ぶ理由は何があるのか。本当に重要な箇所だけで良いのではないか。 |
| 事務局 | ・ 対策箇所選定について、様々な議論があると考えています。事業費・予算・フォローアップ等との関係もあるので、これらを勘案して実効性のある箇所を選定していきたいと考えています。 |
| 委員 B | ・ 事業費や施工期間などの指標・基準を加えて根拠がわかる資料としてもらいたい。 |
| 委員 B | ・ 選定箇所が実際に施工可能かどうか判断するためにも必要である。 |
| 事務局 | ・ 最終的な対策箇所については、本委員会にて議論していただき選定する考えです。また、選定される対策案は、第3回委員会で事業費や施工期間を含めて提示する予定です。 |